

血液検査の結果（12/4記者会見で公表） マスコミ関係者・市民30名ほどが参加

原田浩二先生資料より引用

岐阜・各務原 住民の血中濃度検査で判明
 2023年12月7日付赤旗
 PFASの数値指標超え

記者会見当日の朝刊にはIARCの発がん性の分類格上げの報道も

2023年12月5日付中日新聞
血中濃度他地域より高く
 PFAS 三井水源域の住民

2023年12月4日付中日新聞
PFAS 発がん性「ある」
 PFAS WHO 分類格上げ

参加者（131名）の概要

- ▶ 年齢 平均 63.8歳 最大 96歳 最小 28歳
- ▶ 性別 女性 82名 男性 49名
- ▶ 居住場所と水道水源
 - ▶ 各務原市 三井水源 100名
 - ▶ 小網水源 5名
 - ▶ 西市場水源 17名
 - ▶ 岐阜市 9名

原田浩二先生資料より引用

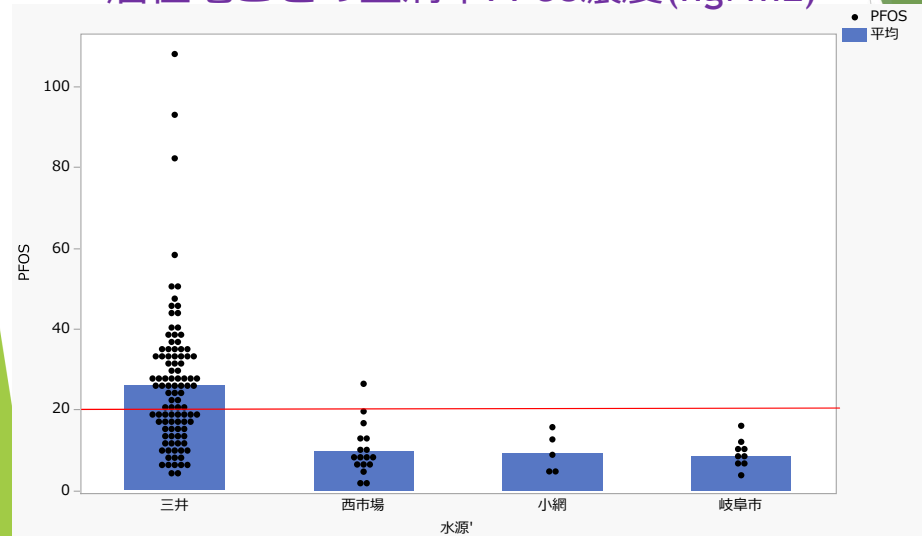
全体概要

- ▶ 調査対象の全てからPFASを検出した。
- ▶ 以下に検出された平均値、最大値などを示す。平均値としてPFOS、PFHxSが高く、4つのPFAS合計のおよそ8割を占めた。

全体集計		PFOS	PFHxS	PFOA	PFNA	Total 4PFAS	Total PFOS+PFOA
131名分	最大	107.9	67.7	15.6	23.9	199.9	121.1
	平均	22.0	22.4	5.6	5.9	56.0	27.7
	最小	1.8	0.3	0.6	0.5	3.2	2.4
	HBM-2,NA超過	65		14		103	79
	%	49.6		10.7		78.6	60.3

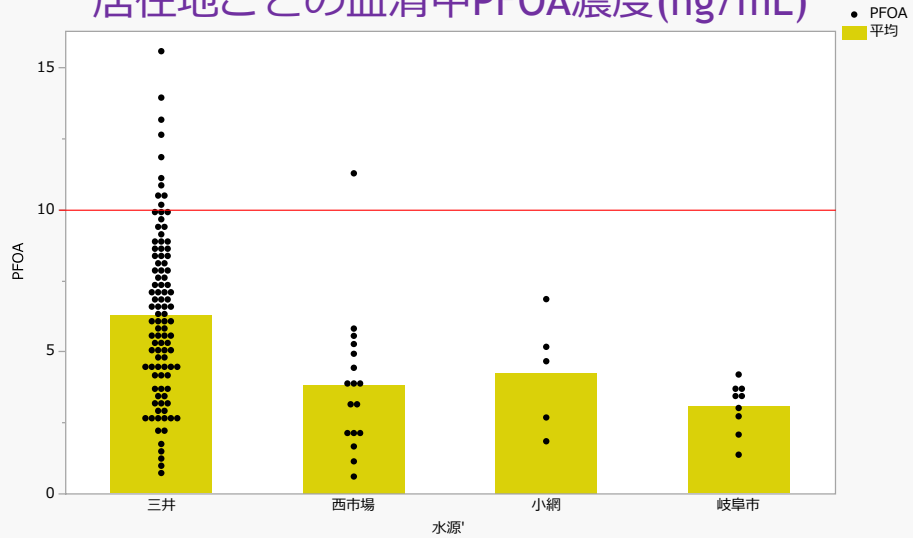
原田浩二先生資料より引用

居住地ごとの血清中PFOS濃度(ng/mL)



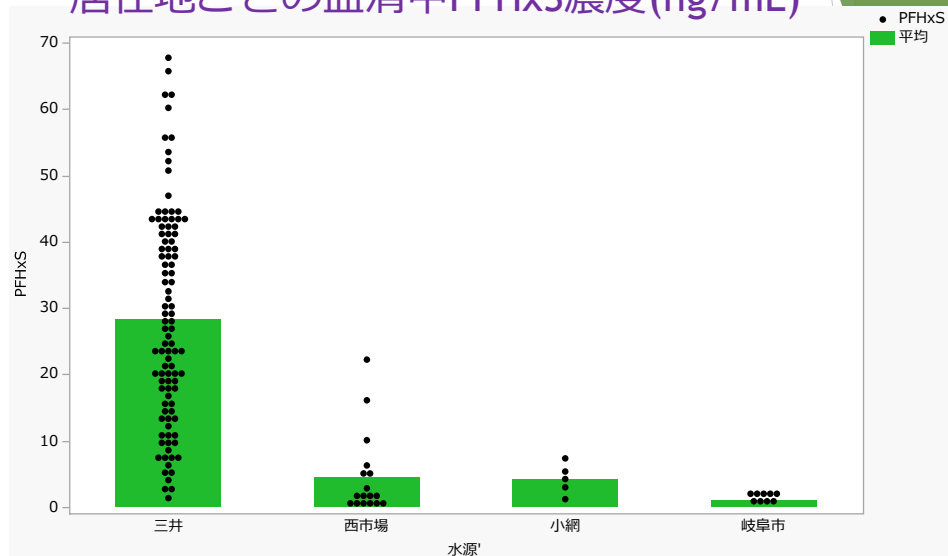
原田浩二先生資料より引用

居住地ごとの血清中PFOA濃度(ng/mL)



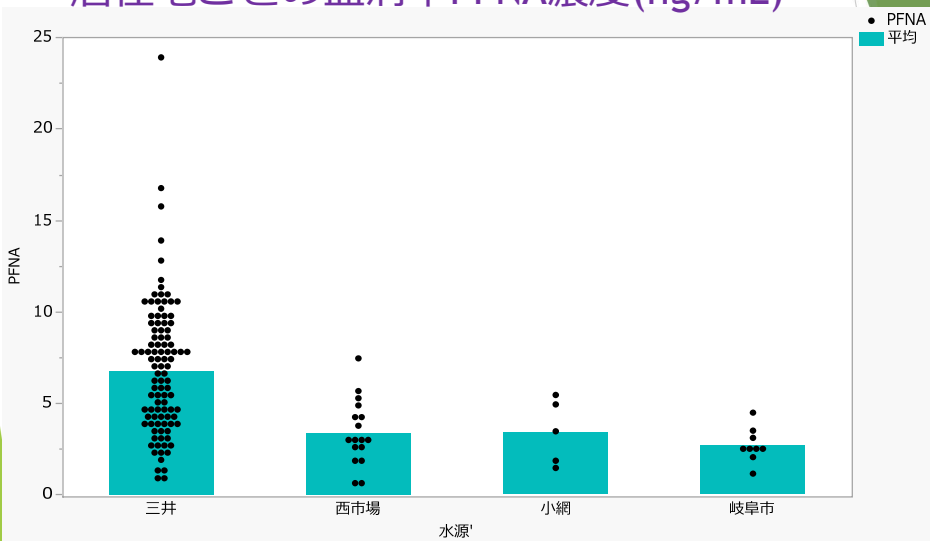
原田浩二先生資料より引用

居住地ごとの血清中PFHxS濃度(ng/mL)



原田浩二先生資料より引用

居住地ごとの血清中PFNA濃度(ng/mL)



原田浩二先生資料より引用

地域	参加者人数	平均血漿・血清中濃度(ng/mL)					
		PFOS	PFOA	PFHxS	PFNA	4PFAS 合計	PFOS +PFOA
三井	100	26.0	6.3	28.3	6.8	67.3	32.2
三井以外	31	9.3	3.7	3.4	3.2	20.0	13.0
t-検定	p値	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001

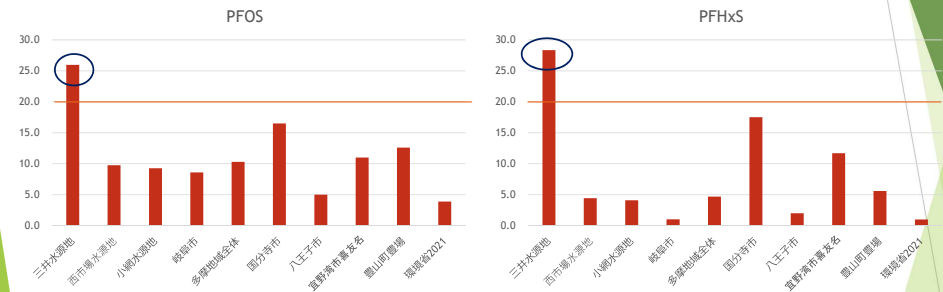
このような差が偶然により起こる可能性がほとんど皆無

PFAS血中濃度の要約と過去の調査との比較

地域		参加者人数	平均血漿・血清中濃度(ng/mL)					
			PFOS	PFOA	PFHxS	PFNA	4PFAS 合計	PFOS +PFOA
各務原市	三井	100	26.0	6.3	28.3	6.8	67.3	32.2
	西市場	17	9.8	3.8	4.4	3.4	21.3	13.6
	小網	5	9.3	4.2	4.1	3.4	21.0	13.5
岐阜市		9	8.6	3.1	1.0	2.7	15.3	11.6
国分寺市		85	16.5	6.5	17.5	4.1	44.6	23.0
宜野湾市喜友名		50	11.0	2.0	11.7	1.9	26.6	13.0
八王子市		14	5.0	2.1	2.0	2.2	11.2	7.1
環境省 2021年調査		119	3.9	2.2	1.0	1.6		

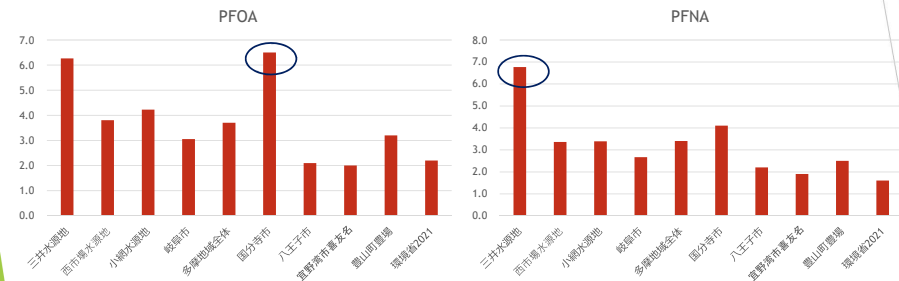
但し、環境省調査はPFASの直鎖体のみの評価である

血液検査の結果について



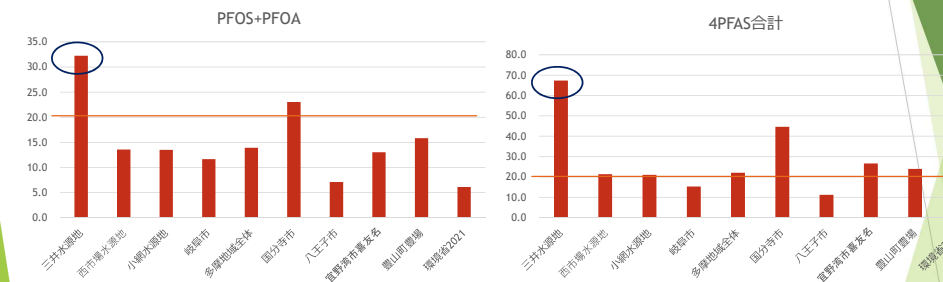
PFOS・PFHxSともに三井水源地が突出、平均で20ng/mL超

血液検査の結果について



PFOAでは国分寺市よりやや低いがPFNAも高値

血液検査の結果について



PFOS-PFOA合計、4PFAS合計でも突出、平均で20ng/mLを大幅に超過